

観光まちづくり学部

【観光まちづくり学科】

浅野	聡	教授	216
井門	隆夫	教授	217
石垣	悟	准教授	218
石本	東生	教授	219
石山	千代	准教授	220
梅川	智也	教授	221
楓	千里	教授	222
嵩	和雄	准教授	223
金	今善	准教授	224
児玉	千絵	専任講師	225
小林	裕和	教授	226
小林	稔	教授	227
椎原	晶子	教授	228
塩谷	英生	教授	229
下間	久美子	教授	230
下村	彰男	教授	231
清野	隆	准教授	232
十代田	朗	教授	233
大門	創	准教授	234
仲野	潤一	専任講師	235
南雲	勝志	教授	236
西村	幸夫	教授	237
河	昶珍	准教授	238
潘	梦斐	助教	239
藤岡	麻理子	准教授	240
堀木	美告	教授	241
松本	貴文	准教授	242
楊	惠亘	専任講師	243
吉見	俊哉	教授	244
米田	誠司	教授	245

【 職、氏名 】	教授 浅野 聡 (ASANO Satoshi)
【 学 位 】	博士(工学) (1994年03月03日,早稲田大学,甲996号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 理工学部建築学科 卒業 早稲田大学 大学院理工学研究科建築学専攻 博士前期課程 修了 早稲田大学 大学院理工学研究科建設工学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	景観計画, 都市計画, 防災、復興計画
【 所属学会 】	公益社団法人日本都市計画学会, 一般社団法人日本建築学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]名古屋市 名古屋市緑の審議会専門部会委員, 伊勢市 伊勢市都市計画審議会会長, 三重県教育委員会 三重県文化財保護審議会委員, 鳥羽市 鳥羽市景観計画審議会会長, 鳥羽市 鳥羽市都市計画審議会会長, 志摩市 志摩市景観審議会会長, 松阪市 松阪市景観審議会会長, 三重県 三重県国土利用計画審議会会長, 南木曾町 妻籠宿保存地区保存審議会委員, 津市 津市景観審議会会長, 津市 津市都市計画審議会会長, 松阪市 松阪市景観計画改訂検討委員会委員長, 斎宮博物館 斎宮跡調査研究指導委員, 鳥羽市 鳥羽市空家等対策委員会委員長, 伊賀市 伊賀市景観審議会会長, 津市 津市景観アドバイザー, 亀山市 亀山市景観審議会会長, 明和町 明和町歴史の風致維持向上協議会委員, 伊賀市 伊賀市歴史の風致維持向上協議会 副会長, 津島市 津島市歴史の風致維持向上協議会委員 副会長, 国立大学法人三重大学 三重大学大学院工学研究科協力研究員(リサーチフェロー), 三重県 三重県景観アドバイザー, UR都市再生機構 URまちづくり専門家
【 受賞歴等 】	日本建築学会奨励賞1997年、日本都市計画学会自治体優秀まちづくりグッズ賞2011年、ジャパン、レジリエンス、アワード(強化大賞)2015金賞(教育機関部門)2015年、日本建築学会賞(業績)2020年、第17回日本観光研究会賞観光著作賞(学術)2024

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	居住誘導区域における住区の街区公園を活用した建設型応急仮設住宅の建設候補地の充足度の現状と課題ー三重県の6市町を対象にしてー	日本建築学会技術報告集	第29巻第73号	1531~1536	日本建築学会	2023年10月
著書等出版物	共著	造景2024			216(14~17、60~65)	建築資料研究社	2024年9月1日
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望			284(161~172)	学芸出版社	2024年3月7日
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			152(111~123)	朝倉書店	2023年3月1日
著書等出版物	共著	図説 わかる都市計画			280(25~41)	学芸出版社	2021年12月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	まちづくりにおける宿泊施設の位置づけ	都市住宅学	第121・122号	10~14	都市住宅学会	2025年2月
論文	単著	景観法の20年の歴史を通じた景観行政の到達点と展望	公園緑地	第85巻第4号	14~17	日本公園緑地協会	2025年1月
論文	共著	木造応急仮設住宅を単独住宅として継続利用することを可能にした要因の考察ー宇城市及び益城町を対象としてー	日本建築学会技術報告集	第30巻第75号	996~1001	日本建築学会	2024年6月
論文	共著	立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの取り扱いに関する現状と課題ー東海4県(岐阜、)静岡、愛知、三重)ー	日本建築学会技術報告集	第27巻第66号	937~942	日本建築学会	2021年6月
著書等出版物	共著	変革社会に対応する新しい都市計画像ー動き始めた「コンパクト・プラス・ネットワーク型都市」への取り組みー			191(7~10、80~83)	中日出版	2022年9月30日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	歴史文化遺産の保存と活用に資するイコモス「遺産影響評価」の拡張と実装に関する研究	日本学術振興会	西村幸夫	23K22937	11180000	2024年04月01日~2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	居住誘導区域におけるハザードエリアを考慮した連続復興型木造住宅計画	日本学術振興会	浅野聡	21K04435	1820000	2021年04月01日~2025年03月31日
科研費	基盤研究(C)	木造仮設住宅を災害公営住宅に転用して長期利用するための震災復興対応型木造住宅計画	日本学術振興会	浅野聡	18K04507	2080000	2018年04月01日~2022年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 都市建築史, 導入ゼミナール, 地域減災論, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想、提案), 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 井門 隆夫 (IKADO Takao)
【 学位 】	文学士 (1985年03月31日,上智大学,第46498号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	上智大学 文学部社会科学 卒業
【 研究分野 】	観光イノベーション, 宿泊業経営研究, 観光・ツーリズム
【 所属学会 】	日本観光研究学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	小規模宿泊業の資本のあり方に関する研究	地域政策研究	26, 4	133～144	高崎経済大学地域政策学会	2024年03月26日
論文	単著	小規模宿泊業の社会的インパクトに関する考察	地域政策研究	25,2	141～151	高崎経済大学地域政策学会	2022年12月28日
論文	共著	新たなエコロジ概念に関する一考察	第37回日本観光研究学会全国大会学術論文集		99～103	日本観光研究学会	2022年12月18日
論文	単著	小規模旅館業の労働生産性と今後の展望	地域政策研究	24, 3	61～70, 10	高崎経済大学地域政策学会	2022年01月
著書等出版物	共著	大学的群馬ガイド こだわりの歩き方			91～115	昭和堂	2024年03月29日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	学生による旅館業運営の試みー小規模宿泊業の労働生産性向上に向けて	地域政策研究	23, 3	39～47	高崎経済大学地域政策学会	2021年03月
論文	単著	旅館事業再生過程におけるPBL学習の試み	地域政策研究	22, 2	101～111	高崎経済大学地域政策学会	2019年12月
論文	単著	地方小規模宿泊業(旅館業)における労働環境	日本労働研究雑誌	708	74～87	労働政策研究・研修機構	2019年07月
論文	単著	訪日外国人の高崎市への立寄り需要に関する一考察	地域政策研究	21, 1	63～70	高崎経済大学地域政策学会	2018年08月
著書等出版物	単著	地域観光事業のススメ方 観光立国実現に向けた処方箋			240	大学教育出版	2017年12月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	小規模宿泊業における資本のあり方に関する研究	日本学術振興会	井門隆夫	21K12457	1300000	2021年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	小規模旅館業の労働生産性向上に資する実証的研究	日本学術振興会	井門隆夫	18K11843	4030000	2018年04月01日～ 2021年03月31日

担当授業科目

2024年度: 観光マーケティング, 導入ゼミナール, 宿泊産業論, 専門ゼミナール, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	准教授 石垣 悟 (ISHIGAKI Satoru)
【 学 位 】	修士(文学) (1999年03月31日,筑波大学)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	富山大学 人文学部人文学科 卒業 筑波大学 大学院歴史人類学研究科文化人類学専攻 日本民俗学コース修士課程 退学
【 研究分野 】	民俗学、博物館学、文化財保護論
【 所属学会 】	日本民具学会
【学外委員等活動】	静岡県文化財保護審議委員、富山県文化財保護審議委員、高知県文化財保護審議委員
【 受賞歴等 】	日本民俗学会研究奨励賞(2003年度)、日本博物館協会棚橋賞(2019年度)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「農山漁村の年中行事」	『日本民俗学講座』	4巻	106～120	朝倉書店	2021年6月1日
論文	単著	「民俗行事の中の食一和食化の背景をめぐって」	『東京家政学院大学 研究紀要』	60号	137～150	東京家政学院大学	2020年9月1日
論文	単著	「民俗学と文化財保護」	『日本民俗学講座』	1巻	194～212	朝倉書店	2020年4月1日
著書等出版物	共著	『観光まちづくりの展望』			284(80～92)	学芸出版	2024年3月7日
著書等出版物	編著	『まつりは守れるか』			1～22、62～ 63、208～209	八千代出版	2022年9月26日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「災害から考える有形の民俗文化財と地域博物館」	『博物館研究』	33号	11～14	日本博物館協会	2019年6月25日
論文	単著	「ムラを評価すること～村落観の可能性～」	『日本民俗学』	231号	32～66	日本民俗学会	2002年8月31日
著書等出版物	編著	『日本の食文化5酒と調味料、保存食』			1～24、54～81	吉川弘文館	2019年4月5日
著書等出版物	共著	『来訪神、仮面仮装の神々』			41～111、247 ～266	岩田書院	2018年12月1日
著書等出版物	共著	『日本の民俗9食と農』			113～209	吉川弘文館	2009年1月20日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	包括的に民俗芸能を理解するための学習プログラムとWeb教材の開発	日本学術振興会	城佳世	22K02848	2730000	2022年04月01日～ 2025年03月31日
科研費	基盤研究(C)	文化財保護行政、地域、教育・保育現場の相互補完による民俗芸能の継承	日本学術振興会	城佳世	17K01202	4160000	2017年04月01日～ 2020年03月31日

担当授業科目

2024年度: 導入ゼミナール, 伝承文学演習II, 伝承文学演習IIA, 伝承文学演習IIB, 博物館概論, 博物館実習A, 博物館資料論, 専門ゼミナール, 基礎ゼミナールA, 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 石本 東生 (ISHIMOTO Tosei)
【 学 位 】	DOCTOR OF PHILOSOPHY (1999年11月20日,ギリシャ共和国 国立アテネ大学,Arch. His. 30-20.11.1999)
【 本学就任年月日 】	2021年04月01日
【 略 歴 】	ギリシャ共和国 国立アテネ大学 大学院人文科学研究科歴史考古学専攻 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	EUの観光政策、ギリシャ・エーゲ海地域の観光
【 所属学会 】	日本都市計画学会, 日本観光研究学会, 日本国際観光学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間]静岡県湖西市 湖西市新居閑跡整備委員, 静岡県浜松市 浜松市蜷塚遺跡保存計画委員
【 受賞歴等 】	第15回(2021年度)学会賞観光著作賞(一般)ポスト・オーバーツーリズム界限を再生する観光戦略(学芸出版社)(共著) 日本観光研究学会

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	EUの助成プログラムLEADERによる農村観光地域開発とボトムアップ・アプローチの実相に関する調査研究—ギリシャ・エーゲ海地域を事例に—	観光研究	35, 2	27~ 46, 20	日本観光研究学会	2024年03月31日
論文	単著	EUの農村観光地域における資金支援制度 LEADER・CLLDプログラムの歴史的経緯、特徴・理念の研究	日本国際観光学会論文集		57~ 65, 9	日本国際観光学会	2022年03月31日
論文	共著	サントリーニ島イア地区における伝統的集落特別保護令による観光地形成—1993年大統領令の規定内容と運用実態の分析—	都市計画論文集	55, 2	137~ 146,10	日本都市計画学会	2020年10月
著書等出版物	共著	ヘリテージマネジメント:地域を変える文化遺産の活かし方			240(190~198)	学芸出版社	2022年05月05日
著書等出版物	共著	ポスト・オーバーツーリズム 界限を再生する観光戦略			235(135~150)	学芸出版社	2020年12月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Sustainable Development of Rural Tourism in Crete, Greece – Restoration and Utilization of a Ruined Traditional Village in Crete –	Proceedings of the International Conference on Changing Cities IV Spatial, Design, Landscape & Socio-economic Dimensions, International Conference on Changing Cities IV		439~ 448	International Conference on Changing Cities IV	2019年06月
論文	単著	神戸「北野町山本通」地区における歴史的町並み保存と観光まちづくり政策の考察	日本国際観光学会論文集	25	15~ 23	日本国際観光学会	2018年03月
論文	単著	Landscape Conservation Policy and Tourism Developments in the Traditional Settlement of Oia, Santorini Island, Greece	Proceedings of the International Conference on Changing Cities III Spatial, Design, Landscape & Socio-economic Dimensions	2017,3	1835~ 1846	International Conference on Changing Cities III	2017年06月
論文	単著	京都の観光力を支える「歴史的町並み保存」と観光振興の考察—重伝建地区「産寧坂」における観光ビジネスの展開—	日本国際観光学会論文集	23	19~ 27	日本国際観光学会	2016年03月
論文	単著	Tourism Development in the Greek Traditional Settlements of Santorini Island and the Cultural Landscape Preservation Policy	Proceedings of the International Conference on Changing Cities II Spatial, Design, Landscape & Socio-economic Dimensions	2015,2	1735~ 1744	International Conference on Changing Cities II	2015年06月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	EUによる域内観光振興に関する資金支援政策の研究—ギリシャを事例に—	日本学術振興会	石本東生	20H04439	17160000	2020年04月01日~2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	ギリシャにおける伝統的集落の保存・再生事業と「強い」観光地形成の政策研究	日本学術振興会	石本東生	15K01957	4680000	2015年04月01日~2018年03月31日

担当授業科目

2024年度: 観光社会学, 世界の観光政策, 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールA

【 職・氏名 】	准教授 石山 千代 (ISHIYAMA Chiyo)						
【 学 位 】	博士(工学) (2019年03月25日, 東京大学, 博工第9512号)						
【本学就任年月日】	2020年04月01日						
【 略 歴 】	東京大学 工学部都市工学科 卒業 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程 修了						
【 研究分野 】	建築計画、都市計画、観光学、地域研究						
【 所属学会 】	日本観光研究学会, 日本建築学会, 日本都市計画学会						
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕文部科学省 文化審議会専門委員, 静岡市 名勝日本平保存活用計画策定委員会委員, 国土交通省都市局 都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会委員, 文化庁 文化資源を活用した文化観光の推進による地方創生に関する懇談会委員, 公益財団法人日本ナショナルトラスト 公益財団法人日本ナショナルトラスト支援事業委員会委員, 静岡市 日本平公園基本計画改定専門委員会委員, 文化庁 文化審議会世界文化遺産部会ワーキンググループ委員, 鎌倉市 鎌倉市観光基本計画推進委員会委員, 文化庁 大阪・関西万博に向けた文化資源の活用推進事業審査委員, 文化庁 日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「文化資源活用推進事業」審査委員, 信州歴史的まちなみフォーラム2023実行委員会 信州歴史的まちなみフォーラム 講師, 静岡市 静岡市SDGS観光研究会委員, 長野県 長野県景観審議会専門委員, 妻籠宿と中山道ハイキングの魅力向上実証事業 アドバイザー, 静岡市 静岡都心における歴史まちづくりグランドデザイン検討会委員, 公益財団法人妻籠を愛する会 妻籠冬期大学講座講師						
【 受賞歴等 】	日本観光研究学会観光著作賞(学術) (2024年06月29日), 日本都市計画学会年間優秀論文賞(2022年06月03日), 日本都市計画学会論文奨励賞(2020年06月05日), 日本観光研究学会観光著作賞(2014年), 日本観光研究学会観光著作賞(2010年), 第4回まちの活性化・都市デザイン競技 国土交通大臣賞(共同)						
【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	白川郷荻町集落の魅力を守り育む住民主体のまちづくり	住宅会議「特集:世界遺産とまちづくり」	120号	24～28	日本住宅会議	2024年02月29日
論文	単著	観光まちづくりと住民: 妻籠宿の事例から考える持続可能な観光	都市問題	113, 10	57～68	公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所	2022年10月01日
論文	共著	景観紛争を乗り越えて実践される柄の浦の町並み保全型まちづくりの現状と計画的課題	都市計画論文集	56, 3	508～515	公益社団法人日本都市計画学会	2021年10月25日
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望			11～40, 184～198(扉, 編集)	株式会社 学芸出版社	2024年02月29日
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			第8章、第9章、第11章	朝倉出版	2023年03月01日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	耕作放棄地の再生利用によるワイン産地形成過程に関する研究ー長野県東御市における小規模ワイナリーを事例として	日本建築学会計画系論文集	86,780	493～503	日本建築学会	2021年02月
論文	共著	地方小都市における歴史的空間の保全・活用による段階的な街区再編に関する研究ー多雪地域の歴史的市街地、青森県黒石市旧商家町のコミセとカグジに着目して	日本建築学会計画系論文集	86,779	161～171	日本建築学会	2021年01月
論文	単著	集落景観を観光資源とする地域の人口減少時代のマネジメントに関する考察ー京都・美山・北村かやぶきの里の保存会と駐車場有料化に至った経緯に着目して	日本観光研究学会全国大会学術論文集		217～220	日本観光研究学会	2020年12月
論文	共著	観光客増加期における経済的恩恵の地域内での還元方策に関する研究	日本観光研究学会全国大会学術論文集		281～284	日本観光研究学会	2019年12月
論文	単著	「地域ならではの風物詩」の創出と継続が「生きた景観」を支える	日本建築学会大会都市計画部門研究懇談会資料『生きた景観マネジメントの実践』		39～42	日本建築学会	2019年12月
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	歴史的集落における集落包括型の空間管理とその計画の実践	日本学術振興会	齋藤雪彦	24K07803	4550000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	基盤研究(B)	歴史文化遺産の保存と活用に資するイコモス「遺産影響評価」の拡張と実装に関する研究	日本学術振興会	西村幸夫	23K22937	11180000	2024年04月01日～2027年03月31日
科研費	若手研究	地域外主体の受入れと施策連携による廃校活用計画論の構築に関する研究	日本学術振興会	石山千代	20K14897	4160000	2020年04月01日～2026年03月31日
担当授業科目							
2024年度: まちづくりと観光, 地域デザイン論, 観光まちづくり演習Ⅰ(調査手法), 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 専門ゼミナール, 基礎ゼミナールA							

【 職・氏名 】	教授 梅川 智也 (UMEKAWA Tomoya)
【 学 位 】	社会工学士 (1981年03月31日,筑波大学)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	筑波大学 第三学群社会工学類都市・地域計画専攻 卒業
【 研究分野 】	観光地経営、観光政策、観光計画
【 所属学会 】	日本観光研究学会, 日本都市計画学会
【学外委員等活動】	第三次鳥羽市観光基本計画策定委員会(鳥羽市) 委員, 持続可能な観光地域づくりに関する新たな財源検討委員会(与論町) 座長, 鳥羽市宿泊税検討委員会(鳥羽市) 座長, 観光地域づくり法人の機能強化に関する有識者会議(観光庁) 委員, 相模原市観光審議会(相模原市) 会長, 「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン推進会議」(下関市) 委員, 「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」有識者委員会(観光庁) 委員, 観光戦略会議(新潟県湯沢町) 座長, 神奈川県観光振興条例・計画検討分科会(神奈川県) 座長, 長門湯本温泉みらい振興評価委員会(山口県長門市)委員長, 日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業に関する審査・評価委員会(文化庁) 委員, 「観光地等における効果的な受入環境整備に関する検討委員会(観光庁) 委員, 「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」審査委員会(観光庁) 委員, 東松山市観光振興基本計画策定懇話会(埼玉県東松山市) 座長, 「地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・展開事業」評価委員会(厚生労働省) 委員, 犬山市観光戦略会議(愛知県犬山市) 委員, 松江観光の明日を創る検討会議(島根県松江市) 委員長, 観光振興事業費補助金 外部有識者委員会(観光庁) 委員, 「三重テラス」運営にかかわるアドバイザリーボード会議(三重県) 委員長, 世界水準DMOのあり方に関する検討会(観光庁) 委員, 別府市みらい検討会議(大分県別府市) 顧問, 白馬村観光振興のための財源確保検討委員会(長野県白馬村), 赤坂迎賓館前新施設における飲食店等運営事業者選定に係る企画選定委員(内閣府) 委員, 東アジア文化都市選定協力者委員会(文化庁) 委員, 農村価値創生と観光・交流に関する研究会(全国町村会) 委員, コト消費空間づくり研究会(経済産業省) 委員, 東京都港湾審議会 海上公園分科会(東京都港湾局) 委員
【 受賞歴等 】	日本観光研究学会賞 観光著作賞(2014年05月), 日本観光研究学会賞観光著作賞(2010年05月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「観光政策の流れと宿泊施設」～観光地経営の視点から	『都市住宅学121・122号』		28～34	公益社団法人都市住宅学会	2025年03月
Misc	単著	「リゾート」研究に関する一考察～四方山話から見えてくるもの	『観光文化 第263号』		14～18	(公財)日本交通公社	2024年10月
Misc	単著	温泉地のイノベーションー“温泉まちづくり”は保養滞在型への契機となるか	『温泉 2023年春号』		4～7	(一社)日本温泉協会	2023年02月
Misc	単著	「温泉をまちづくりに活かす～温泉まちづくりのススメ」	『町村週報3225号ー2023新年号』		5～10	全国町村会	2023年01月
Misc	単著	コロナ禍からの「創造的復興」は可能か	『造景2021』		166～171	建築資料研究社	2021年06月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望			第12章	学芸出版社	2024年2月
著書等出版物	共著	観光地経営の視点と実践[第2版]			vi, 258 (2～12、30～45、108～117、142～151、159～167、170～171、172～179、214～221、全体監修)	丸善出版	2019年04月
著書等出版物	共著	観光計画論1 理論と実践			ix, 168 (101～157、159～163)	原書房	2018年03月
著書等出版物	共著	観光地づくりオーラルヒストリー：〈観光計画・観光地づくりの要諦を探る〉			168 (はじめに、163～176)	日本交通公社	2017年03月
著書等出版物	共著	観光まちづくり：まち自慢から始める地域マネジメント			285 (65～81、97～112、258～267)	学芸出版社	2009年02月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	新しい観光形態としてのオンラインツアーの課題と可能性に関する研究	日本学術振興会	堀木美告	22K12621	3640000	2022年04月01日～2025年03月31日

担当授業科目

2024年度: 観光政策・計画論, 観光地経営論, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールA, 専門ゼミナール

【 職・氏名 】	教授 楓 千里 (KAEDE Chisato)
【 学 位 】	政治学士 (1978年03月31日, 学習院大学)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	学習院大学 法学部政治学科 卒業
【 研究分野 】	地域の観光情報メディア
【 所属学会 】	日本観光研究学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕一般財団法人地域活性化センター ふるさとイベント大賞選考委員会, 国土交通省 社会整備審議会 河川分科会委員, 国土交通省 社会整備審議会河川分科会事業評価小委員会, 一般財団法人地域活性化センター ふるさとパンフレット大賞選考委員会, 国土交通省 道の駅 第三ステージ推進委員会, 国土交通省 社会資本整備審議会, 国土交通省 社会資本整備審議会道路分科会, 国土交通省 社会資本整備審議会 歴史風土分科会, 国土交通省 青函共用走行に関するワーキング, 東京都 東京宝島推進委員会, 国土交通省 かわまち大賞選考委員会, 国土交通省 ナショナルサイクルルート制度検討小委員会, 独立行政法人都市整備機構 事業評価監視委員会, 国土交通省関東地方整備局 総合評価審査委員会, 公益財団法人日本河川協会 理事, 国土交通省 ナショナルサイクルルート認定委員会, 文化庁 文化施設を中心とした文化観光の在り方に関する検討会議, 国土交通省 国土審議会専門委員, 文化庁 スポーツ文化ツーリズムアワード審査委員会委員, 文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に係る計画認定等委員会 委員, 国土交通省 流域総合水管理のあり方検討小委員会委員, 内閣府 北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策の検討に関する有識者会議, 東京都 都立明治公園及び代々木公園整備・管理運営事業アドバイザー, 神奈川県観光審議会委員, 日本観光振興協会 全国観光推進協議会委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			143(124～135)	朝倉書店	2023年3月1日
講演・発表	単	「多様化する時代における、地域の観光まちづくりとは」	HIRATSUKAまち・ひと・魅力づくりフォーラム			湘南NPOサポートセンター	2025年1月29日
講演・発表	単	「地域と歩む観光まちづくり学部」	院友会青森支部総会			院友会青森支部	2024年9月8日
講演・発表	単	「持続可能な地域の実現に向けた観光まちづくり」	TCVB観光活性化フォーラム			東京観光財団	2023年2月8日
講演・発表	共	「なりわい文化とまちあるき観光」	「全国産業観光フォーラム」観光地域ストーリー研究会 第9回大会			日本観光振興協会	2022年2月18日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
講演・発表	単	「観光まちづくり」について	UR・都市再生機構「都市再生の未来」勉強会			UR・都市再生機構	2022年01月21日
講演・発表	単	「コロナ禍が「観光業」に与えた影響と今後の見通し」	全国「道の駅」連絡会総会			全国「道の駅」連絡会	2021年04月22日
講演・発表	共	「クラフトビールオンラインフェス」	国税庁「クラフトビールオンラインフェス」			国税庁	2021年02月06日
講演・発表	共	「地域を見つめ、地域を動かす」	國學院大學「観光まちづくりフォーラム」～持続可能地域づくりに向けて～			國學院大學	2020年11月26日
講演・発表	単	「イザベラバードの魅力を探る」	イザベラバード来日140年を記念シンポジウム			一般社団法人全国道の駅連絡会	2019年06月09日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 地域の観光情報メディア, 導入ゼミナール, 観光まちづくりインターンシップ, 基礎ゼミナールA, 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	准教授 嵩 和雄 (KASAMI Kazuo)
【 学 位 】	修士(工学) (1998年03月,東洋大学,第1065960007)
【 本学就任年月日 】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東洋大学 法学部法律学科 卒業 東洋大学 大学院工学研究科建築学専攻 博士前期課程 修了 東洋大学 大学院工学研究科建築学専攻 博士後期課程 満期退学
【 研究分野 】	地域計画
【 所属学会 】	日本建築学会
【 学外委員等活動 】	〔過去5年間〕公益財団法人日本ナショナルトラスト 支援事業委員会, 国土交通省観光庁 観光圏整備に関する検討会委員, 千葉県地方自治研究センター 千葉県地方移住研究会, 東京都 地域課題を通じた地域との縁づくりワークショップ等企画運営業務委託技術審査委員会 委員, 東京都 東京多摩・島しょ地域への暮らし体験ツアー等企画運営業務委託技術審査委員会委員, 内閣府 内閣府沖縄振興交付金事業等評価検討会委員, 福井県若狭町 若狭町SDGs地域経済好循環事業補助金審査委員会 審査委員, 石川県 いしかわ里山振興ファンド事業審査会委員, 高知県 関係人口オンラインセミナー開催等委託業務 プロポーザル審査委員会委員, (一財)都市農山漁村交流活性化機構 オーライ! ニッポン大賞審査委員会委員, 農林水産省 都市農村交流関係補助金等交付先選定審査委員, 農林水産省 地域振興関係補助金等交付先選定審査委員, 高知県 高知県 新たな移住促進策を考える懇話会委員, 国土交通省 ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会委員
【 受賞歴等 】	第34回農業ジャーナリスト賞奨励賞 (2019年06月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
Misc	単著	『「関係人口」縮減社会における新たな人のつながり(特集 変容の時代の国土のリ・プランニング)』	『地域開発』	2022. 秋, vol.643	38～41	一般社団法人日本地域開発センター	2022年11月30日
著書等出版物	分担執筆	『地域人材を育てる手法』			91～115	農文協	2022年03月20日
著書等出版物	共著	『新しい地域をつくる』			125～147	岩波書店	2022年02月16日
著書等出版物	分担執筆	『若者を地域の仲間に! 秘訣をつかむハンドブック』			36～43	筑波書房	2021年03月
著書等出版物	共著	『田園回帰がひらく新しい都市農村関係』			79～87, 98～100	ナカニシヤ出版	2021年03月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	『移住希望者のための「行政による空き家のサブリース事業」の動向と課題』	『砺波散村地域研究所研究紀要』	37	55～61	砺波市立礪波散村地域研究所	2020年03月
論文	単著	『地方移住希望者の動向と自治体の対応(特集 地方移住を考える)』	『都市問題』	110, 6	48～56	後藤・安田記念東京都市研究所	2019年06月
論文	共著	『田園回帰における空き家利活用の課題と可能性』(特集 空家問題の地域性)	『統計』	70	29～35	日本統計協会	2019年02月
論文	共著	『農山村の空き家再生に地域社会が果たす役割に関する研究 ―「新しいコミュニティ」に着目して―』	『住総研・研究論文集』	43	103～114	一般財団法人住総研	2017年02月
Misc	単著	『田園回帰の動きと今後の展望』	月間司法書士	No.606	17～23	日本司法書士連合会	2022年08月10日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	研究活動スタート支援	孫ターン者の移住決定プロセスにおける幼少期の現地体験に関する研究	日本学術振興会	嵩和雄	21K20195	1040000	2021年08月30日～2023年03月31日
科研費	基盤研究(B)	地域運営組織を核とした農山村型連帯経済モデルの構築に関する研究	日本学術振興会	筒井一伸	20H01395	17290000	2020年04月01日～2024年03月31日
科研費	基盤研究(B)	住み継ぎの段階性に着目した集落を継承する少人数社会システムの構築に関する研究	日本学術振興会	佐久間康富	18H01606	17030000	2018年04月01日～2022年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, 田園回帰論, 観光まちづくりインターンシップ, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールA

【 職・氏名 】	准教授 金 今善 (KIM Guemsun)
【 学 位 】	博士(政治学) (2008年03月25日, 東京都立大学, 社博第160号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東京都立大学 大学院社会科学研究所政治学専攻 修士課程 修了 東京都立大学 大学院社会科学研究所政治学専攻 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	地方自治論、行政学、多文化共生論
【 所属学会 】	移民政策学会, 日本観光研究学会, 日本公共政策学会, 日本行政学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]せたがや自治政策研究所 政策研究員, 相模原市 相模原市大規模小売店舗立地審議会 委員, 多摩市 第4期東京都多摩市自治推進委員会 委員, 多摩市 第3期東京都多摩市自治推進委員会 委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	NIMBY問題と市民委員会型政策形成：東京都狛江市の事例からみた機能と陥穽	法学会雑誌	57, 1	235～264, 266～272	首都大学東京都市 教養学部法学系	2016年07月
論文	単著	自治体の紛争管理に関する政治・行政学的考察:杉並区と武蔵野市の一般廃棄物処理施設事例研究	社会技術研究論文集	11,0	55～ 69	社会技術研究会	2014年
論文	単著	韓国における「地域行政」と自治の行方?—邑・面・洞機能転換	都市政策研究	2	185～ 230	首都大学東京都市 教養学部都市政策 コース	2008年
論文	単著	迷惑施設の立地をめぐる政策執行過程における「合意形成」—東京都日の出町最終処分場立地紛争を中心に	東京都立大学法学会 雑誌	45, 1	313～ 370	東京都立大学法学 部	2004年07月
著書等出版物	単著	自治体行政における紛争管理～迷惑施設立地問題とどう向き合うか～			270	ユニオンプレス	2016年12月15日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	代表的官僚制論から見る日本官僚制:国際比較に基づく定性・定量混合アプローチ	日本学術振興会	金井 利之	24H00137	47580000	2024年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	基盤研究(C)	韓国ソウル市における住民主体のまちづくりの展開とローカル・ガバナンスに関する研究	日本学術振興会	金 今 善	22K01931	1820000	2022年04月01日～ 2025年03月31日
科研費	学術図書	自治体行政における紛争管理～迷惑施設立地問題とどう向き合うか～	日本学術振興会	金 今 善	16HP5141	1000000	2016年04月20日～ 2016年12月15日

担当授業科目
2024年度: 住民参加と合意形成, 地方自治概論, 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, 基礎ゼミナールA, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	専任講師 児玉 千絵 (KODAMA Chie)
【 学 位 】	博士(工学) (2018年05月17日, 東京大学, 博工第9363号)
【 本学就任年月日 】	2019年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程 修了 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程 修了
【 研究分野 】	都市計画
【 所属学会 】	日本都市計画学会, 日本建築学会, 土木学会
【 学外委員等活動 】	交通拠点と防災のあり方／あり様に関する検討会委員, 地域道路経済戦略研究会関東地方研究会委員, 全国バスタ会議委員 等
【 受賞歴等 】	第17回観光著作賞(学術), 日本観光研究学会

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名／会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名／主催者 名／発行所等	出版／開催／発行 年月日
論文	共著	中山間地域における近代以降の製材工場の立地動態に関する研究 木曾川支流付知川の上流域に位置する中津川市付知町を事例に	日本建築学会計画系論文集	88,806	1271-1282	日本建築学会	2023年4月
論文	共著	都市域・流域圏の情報拠点としての下水道—運転管理データ活用の試み—	AI・データサイエンス論文集	1, J1	278～ 285	土木学会	2020年11月11日
著書等出版物	共著	高さのデザイン:空間の豊かさに向き合う			218(129～140)	京都芸術大学東北芸術工科大学出版局芸術学舎	2025年3月
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望:地域を見つめ、地域を動かす			283(118～128)	学芸出版社	2024年2月
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			135(24～32)	朝倉書店	2023年3月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名／会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名／主催者 名／発行所等	出版／開催／発行 年月日
論文	共著	建築基準法第39条災害危険区域に着目した土地利用規制制度の理念に関する研究	都市計画論文集	48, 3	201～ 206	公益社団法人 日本都市計画学会	2013年
著書等出版物	その他	松山市の都市計画道路			付属地図	松山アーバンデザインセンター	2020年12月01日
講演・発表	共同	中山間集落における明治期以降の土地利用変遷と国有林業インフラの転換との関係—岐阜県中津川市付知町を事例に—	第64回土木計画学研究発表会秋大会			土木学会土木計画学研究委員会	2021年12月
講演・発表	共同	ストリート・インキュベーションは可能か 道路予定区域利活用社会実験を通して	2018年日本建築学会大会学術講演梗概集都市計画			日本建築学会	2018年07月20日
講演・発表	共同	市街化履歴に着目した近世城下町縁辺部の形成メカニズムに関する分析と考察 長野県松本市中央四丁目地区を対象として	2016年日本建築学会大会学術講演梗概集都市計画			日本建築学会	2016年08月24日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	公共施設と交通結節点の変遷に着目した都市ストックのライフサイクルの解明	日本学術振興会	児玉千絵	21K14322	4680000	2021年04月01日～2027年03月31日
科研費	研究活動スタート支援	非集計的アプローチの都市形成史に基づくストックマネジメントとその超長期的効果	日本学術振興会	児玉千絵	19K23554	2860000	2019年08月30日～2025年03月31日
科研費	基盤研究(A)	ユネスコ「歴史的都市景観に関する勧告」後の都市経営戦略確立に関する研究	日本学術振興会	西村幸夫	16H02382	500000(37310000)	2016年04月01日～2020年03月31日

担当授業科目
2024年度: 地理空間情報分析, 専門ゼミナール, 観光まちづくり演習 I (調査手法), 観光まちづくり演習 II (地域分析), 観光まちづくり演習 III (構想・提案), 基礎ゼミナールA, 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 小林 裕和 (KOBAYSHI Hirokazu)
【 学位 】	博士(観光学) (2022年09月26日,北海道大学,第7162号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	東北大学 理学部 地理学科 卒業 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 観光創造専攻 博士後期課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	文化観光, スマート・デスティネーション, スマートツーリズム, 観光学, 観光イノベーション, DMO, 観光地域づくり法人, DMC, 観光まちづくり, 観光DX, 地域活性化, 観光マーケティング, 持続可能な観光
【 所属学会 】	日本イコモス国内委員会, 経営情報学会, 観光情報学会, 日本観光経営学会, 日仏経営学会, 日本国際観光学会, 日本マーケティング学会, 観光学術学会, 日本観光研究学会, 人文地理学会, 日本地理学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] やんばる観光地域づくり戦略策定有識者懇談会委員, JAPAN MICE Challenge実行委員会, 国土交通省観光庁「全国の観光地・観光産業における観光DX推進に関する マーケティング強化モデル実証事業」に関する検討委員会, 国土交通省観光庁 インバウンドベンチャーと連携した観光現場における ICT サービス等の利活用推進検討会, 観光庁 観光 DX による地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業に係る有識者委員会, 観光庁 観光庁「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業に係る有識者委員会」委員, 一般社団法人渋谷 MICE 協会 理事, 内閣官房地域ツーリズム促進調査研究業務 大阪・関西万博 地域ツーリズム調査研究会委員(座長), 観光庁「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による観光・地域経済活性化実証事業に係る有識者委員会」委員, 観光庁観光産業課「宿泊施設を核とした観光地のDX推進に向けた実証事業」選定委員, 観光庁観光地域振興部観光資源課「ワーケーション推進事業」モデル実証事業選考委員, 観光庁「持続可能性の高い観光地経営の実現に向けた観光DX推進緊急対策に係る実証事業選定委員会」委員, 国土交通省観光庁 R6年度 訪日外国人旅行者の受入環境整備向上等に向けた観光現場におけるICTサービス等利活用促進事業有識者
【 受賞歴等 】	第17回日本観光研究学会賞 論文奨励賞(2024年06月29日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	Connectionisation in Tourism: Innovating Destination Management through Open Data by Private Sector - The Fukui Model -	THE INC 2024 CONFERENCE PROCEEDINGS		44～ 45, 2	Association of Tourism, Hospitality and Events Networks in Academia	2024年06月
論文	単著	観光デジタルトランスフォーメーションによる「地域とともにある観光」へ一脱「観光」についての試論	第37回日本観光研究学会全国大会学術論文集		27～ 32	日本観光研究学会	2022年12月
論文	単著	地域における旅行サービスビジネスの役割に関する包括的理解とその枠組みについて	北海道大学学術成果コレクション			北海道大学	2022年09月26日
著書等出版物	単著	地域旅行ビジネス論			169	晃洋書房	2024年02月29日
講演・発表		Destination digital transformation derived with accommodation as a new digital intermediary: The centroid of tourism distribution gravity moving toward destination	3rd World Conference on Smart Destinations			The Government of Spain, the Generalitat Valenciana, Valencia City Council, Visit València Foundation	2022年11月21日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	旅行業における商品イノベーションを引き起こす旅行商品の特性について	国際広報メディア・観光学ジャーナル	10	61～ 72		2010年03月10日
論文	単著	システム・アプローチによる持続可能な観光のシステムに関する分析について～東アジアを事例として～	日本観光研究学会第23回全国大会論文集		487～ 488	日本観光研究学会	2008年11月
論文	単著	持続可能な観光論－歴史・理論・戦略	日本観光研究学会第21回全国大会学術論文集(2006年12月)	21	81～ 84	日本観光研究学会	2006年12月
著書等出版物	分担執筆	これでわかる!着地型観光: 地域が主役のツーリズム			223p	学芸出版社	2008年11月
著書等出版物	分担執筆	にぎわい文化と地域ビジネス			295p, 図版[4]p	春風社	2004年11月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 導入ゼミナール, 専門ゼミナール, 観光事業論, 旅行産業論, 國學院の学び(観光・ツーリズムと経営), 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	教授 小林 稔 (KOBAYASHI Minoru)
【 学 位 】	文学修士 (1985年03月22日,成城大学,第248号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	成城大学 文芸学部文化史学科 卒業 成城大学 大学院文学研究科日本常民文化専攻 博士課程前期 修了
【 研究分野 】	民俗学, 文化財保護論
【 所属学会 】	日本民俗学会, 日本民具学会, 民俗芸能学会, 儀礼文化学会
【学外委員等活動】	[過去5年間] 国立歴史民俗博物館共同研究員、能登半島地震復興支援事業・無形民俗文化財被災状況・支援事業調査員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	祭り・継承・まちづくり	機構ニュース	通号36 号	3	研究開発推進機構	2025年2月25日
論文	単著	祭り・継承・まちづくり	企画展「神輿一つな がる人と人ー」 MIKOSHI - The Portable Shrine -図録		33	國學院大學博物館	2024年6月29日
論文	単著	「とちぎ秋まつり」の回顧と展望	持続可能な「観光まち づくり」に関する 調査 研究報告書	令和5 年度版	20	國學院大學観光まち づくり学部	2024年3月31日
論文	単著	改正文化財保護法と民俗学	日本民俗学	310	131	日本民俗学会	2022年05月31日
著書等出版物	分担執筆	「観光まちづくり」のための地域の見 方・調べ方・考え方			13	朝倉書店	2023年03月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「来訪神」行事の保存と活用	月刊文化財	通巻 666号	5	第一法規	2019年03月23日
論文	単著	民俗技術の10年ーその回顧と展望 ー	月刊文化財	通巻 655号	6	第一法規	2018年04月23日
論文	単著	山・鉦・屋台行事の保存と活用	月刊文化財	通巻 643号	9	第一法規	2017年04月22日
著書等出版物	分担執筆	まつりは守れるか：無形の民俗文 化財の保護をめぐる			189	八千代出版	2022年09月26日
著書等出版物	分担執筆	山・鉦・屋台の祭り研究事典			377	思文閣出版	2021年04月07日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度：地域文化創造論，専門ゼミナール，導入ゼミナール，民俗学概論，文化行政・文化財行政概論，地域資源論，観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析)，基礎ゼミナールA，基礎ゼミナールB	

【 職・氏名 】	教授 椎原 晶子 (SHIHHARA Akiko)
【 学位 】	藝術学修士 (1989年03月25日,東京藝術大学,修美第2730号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東京藝術大学 美術学部芸術学科 卒業 東京藝術大学 大学院美術研究科環境造形デザイン専攻修士課程 修了 東京藝術大学 大学院美術研究科環境造形デザイン専攻博士課程 満期退学
【 研究分野 】	歴史的環境 保全活用, 住民参加, 都市計画, 環境デザイン, 地域アート, 建物再生, 環境保全
【 所属学会 】	日本都市計画学会, 日本建築学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕調布市 調布市景観審議会委員, 藤沢市旧桔梗屋保存活用計画策定委員会 委員, 藤沢市旧桔梗屋活用事業者選定委員会委員, 練馬みどりのまちづくりセンター 練馬まちづくり活動助成事業審査委員, 東京防災建築・まちづくりセンター 東京歴史まちづくりファンド審査委員
【 受賞歴等 】	第5回横浜まちなみ景観賞「プラフ18番館」(1993年09月), 第三回楠本洋二賞 最優秀賞(2012年12月), グッドデザイン賞2015「上野桜木あたり」(2015年10月), 第三回台東区まちづくり景観賞(活動部門)「特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会」(2019年01月), 第四回台東区まちづくり景観賞(リノベーション部門)「旧銅菊・未定番研究所」(2021年06月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	歴史的木造密集地域における生活空間の保全と再生—台東区谷中を例に	都市問題	114号	88～103,15	公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所	2023年05月01日
著書等出版物	共著	『上野がすごい—日本の未来を創る街』			223(73～102)	中央公論新社	2024年12月06日
著書等出版物	共著	『観光まちづくりの展望 地域を見つめ、地域を動かす』			284(245～274)	学芸出版社	2024年02月29日
著書等出版物	共著	『市民がまちを育む—現場に学ぶ「住まいまちづくり」』			296(124～163,215,217)	建築資料研究社	2022年09月30日
作品	共作	花重リノベーション	グッドデザイン賞2024	2024産業/商業部門	受賞番号24G14152	公益財団法人日本デザイン振興会、事業団体:山陽エージェンシー	2024年10月16日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	東京都台東区「花重」保存再生プロジェクト その1:歴史的建造物再生の協働体制と相互理解の深め方について	日本建築学会大学術講演 概要 計画系	2024	731～732	日本建築学会	2024年7月
論文	単著	歴史的風致と防災を両立する「ふるさと・東京」を目指して:台東区谷中地区の取組から	月刊文化財(特集 文化財活用のアイデア)—(観光に活かす)	661号	15～17,3	第一法規	2018年10月
論文	単著	ふるさとになれるまち:職住エリアと地域文化資源の総合的再生:東京,谷中界隈における取組みとヴィジョン	都市計画(特集:都市のリジェネレーション)	314号	64～67,4	日本都市計画学会	2015年04月
著書等出版物	共著	『受け継がれる住まい—住居の保存と再生法』			203(26～27,129～138)	柏書房	2016年09月
著書等出版物	共著	『東京文化資源区の歩き方』			285(211～234)	勉誠出版	2016年03月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	研究活動スタート支援	歴史文化資源保全と防災対策を両立する地域まちづくりに関する研究	日本学術振興会	椎原晶子	21K20464	2600000	2021年08月30日～2025年03月31日

担当授業科目

2024年度:専門ゼミナール,導入ゼミナール,リノベーション論,アートと地域復興

【 職・氏名 】	教授 塩谷 英生 (SHIOYA Hideo)
【 学位 】	経済学修士 (1989年03月31日,筑波大学)、観光科学博士(2017年9月,東京都立大学)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	筑波大学 第三学群社会工学類 卒業 筑波大学 大学院経営政策科学研究科 修士課程 修了 首都大学東京(現東京都立大学) 都市環境科学研究科 博士課程観光科学域 修了
【 研究分野 】	経済学, 統計学, 市場分析, 観光財源
【 所属学会 】	一般社団法人 日本観光研究学会
【学外委員等活動】	[過去5年間](一社)日本観光研究学会 理事・学会賞等審査委員長, 白馬村 白馬村観光振興のための財源確保検討委員会, 環境省関東地方環境事務所尾瀬国立公園歩道のあり方検討会, 神奈川県新たな観光財源に関する勉強会
【 受賞歴等 】	優秀論文賞(2022年05月14日), 学会賞(観光著作賞(一般))(2015年05月), 学会賞(観光著作賞(一般))(2019年05月), 学会賞(観光著作賞(学術))(2024年06月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	Wi-Fi パケットセンサーの「共通基準による観光入込客統計」への活用可能性に関する研究:一宮島での実証実験結果より	観光研究	32, 2	43~ 51	日本観光研究学会	2021年
Misc	単著	外客比率と負の相関関係に: 都道府県の宿泊者数(特集 数字が示す地域の観光: 都道府県の予算、宿泊者数、観光消費)	Travel journal	58, 23	12~ 15	トラベルジャーナル	2021年06月21日
Misc	単著	コロナ禍下の国内旅行市場の動向とオピニオンリーダー層の旅行意向(特集 現場に問う、新たな市場の展望: コロナ禍での現状と課題 (Part3))	観光文化 = Tourism culture : 機関誌	45, 1	44~ 48	日本交通公社	2021年02月
Misc	単著	統計でみる旅行市場の動向と課題: パンデミックを越えて再び基幹産業へ(特集 持続可能な観光産業へ)	運輸と経済 = Transportation & economy	80, 9	12~ 18	交通経済研究所	2020年09月
Misc	単著	観光と税~増大する行政需要にどう対応するか	税	79,11	12~21	ぎょうせい	2024年11月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	観光の経済効果向上のための施策と財源(特集 観光の経済効果と地域財源の確保)	観光研究: 日本観光研究学会機関誌 = The tourism studies : the journal of Japan Institute of Tourism Research	30, 2	60~ 63	日本観光研究学会	2019年03月
論文	単著	観光政策 観光客を収受対象とする地域の協力金制度の導入効果と課題(学会特集号)	経済政策ジャーナル = Journal of economic policy studies	14, 1	35~ 38	日本経済政策学会	2017年
論文	共著	データから見る観光需要の偏在(特集「平準化」を考える: 成熟化社会の旅と観光地に向けて)	観光文化 = Tourism culture : 機関誌	39, 4	6~ 11	日本交通公社	2015年10月
論文	単著	都道府県観光費の動向とその規定要因	観光研究	24, 2	9~ 14	日本観光研究学会	2013年
著書等出版物	共著	観光地経営の視点と実践(第2版)			268(138~142,146~149,151~153)	丸善出版	2019年04月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	域内循環に貢献する宿泊事業の類型と自治体の支援施策に関する研究	日本学術振興会	塩谷英生	23K11631	3770000	2023年04月01日~2026年03月31日

担当授業科目

2024年度: 統計分析の基礎, 導入ゼミナール, 観光経済論, 専門ゼミナール, 基礎ゼミナールB, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	教授 下間 久美子 (SHIMOTSUMA Kumiko)
【 学位 】	博士(工学)(工学関係)(1996年03月,東京大学)
【 本学就任年月日 】	2022年04月01日
【 略 歴 】	千葉大学 工学部建築学科 卒業 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程 退学
【 研究分野 】	都市保全(歴史的な都市、町並み、集落の保全) 文化財(特に文化財建造物の防災及び活用、集落・町並みの保全、文化的景観の保全、世界遺産)
【 所属学会 】	棚田学会
【 学外委員等活動 】	(過去5年間)文化庁 文化庁非常勤調査員, 令和6年度日本芸術文化振興会文化財保存活用専門委員会 委員, 一般社団法人日本イコモス国内委員会 理事/副委員長(2022年3月~), 竹富町伝統的建造物群保存地区等保存審議会 会長(2024年4月~), 香取市佐原地区歴史的景観審議会 委員(2024年8月~), 重要文化財千葉家住宅保存活用委員 委員(2024年7月~), 姫島村文化財保存活用地域計画協議会 委員(2024年1月30日~), 葛飾柴又の文化的景観保存・活用推進委員会 委員(2023年度~), 島根県・大田市 石見銀山遺跡学術戦略会議(2023年12月~) 委員, 犬山市歴史まちづくり協議会(2023年度~) 委員, 東京都建設局 都立日比谷公園旧公園資料館等保存・活用事業事業者審査委員会委員(2023年度), 美濃市 美濃市歴史まちづくり協議会委員(2023年度~), 姫島村文化的景観整備活用委員会 委員(2022年度~), 犬山市歴史まちづくり協議会専門部会 委員(2022年度~)

【 受賞歴等 】

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	The Current Situation and Challenges of Cultural Properties Protection in Japan	PRESERVING THE CONTEMPORARY HISTORIC CITY OF KYOTO: Processes, Issues, and solution		68~87	CPCL Series	2024年05月14日
Misc	単著	大規模災害に備えるために一活用の促進と防災一	ACCU国際会議2023「アジア太平洋地域における文化財防災の現状と課題(III)一災害へのレジリエンスを高めるための減災の取り組みと事前の備え一」		17~43	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	2024年03月31日
Misc	単著	「文化的景観の挑戦と課題」	造景2022		18~25	株式会社建築資料研究社	2022年08月31日
著書等出版物	共編著	英仏版の比較検討から読み直すベニス憲章			9~10,14~27,88~90,101~110	南風舎	2025年01月31日
著書等出版物	共著	『観光まちづくりの展望 地域をみつめ、地域を動かす』			43~54	学芸出版社	2024年02月29日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「住環境創出の指標としての歴史的建造物の保存及び活用に係る研究」	学位論文(博士)		195	東京大学	2006年03月
Misc	単著	Consideration of Authenticity through a Comparison of Japan's Cultural Property Protection System and the World Heritage System	Report on the 35th Seminar 30 Years of the Nara Document in the Global Context of Heritage Conservation		42~46	Japan Consortium for International Cooperation in Cultural Heritage 20	2025年3月22日
Misc	単著	「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録10周年記念 国際シンポジウムとヘリテージ・エコシステムに関する群馬宣言	ICOMOS Japan Web Information	2025年春号		一般社団法人日本イコモス国内委員会	2025年03月08日
著書等出版物	共著	共訳『建築・都市遺産の防災指針一世界文化遺産のためのマネジメント・マニュアル』			17~71	アルヒーフ	2008年03月01日
著書等出版物	単著	『日本の美術第472号 長崎居留地』			98	至文堂	2005年08月01日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目

2024年度: 導入ゼミナール, 専門ゼミナール, 地域遺産論, 地域資源論, 文化行政・文化財行政概論, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールA

【 職・氏名 】	教授 下村 彰男 (SHIMOMURA Akio)
【 学 位 】	博士(農学) (1993年02月, 東京大学, 農乙第11054号)
【 本学就任年月日 】	2020年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 農学部林学科 卒業 東京大学 大学院農学系研究科林学専門課程 修士課程 修了 東京大学 大学院農学系研究科林学専門課程 博士課程 中途退学
【 研究分野 】	風景計画, 造園学, 観光・レクリエーション計画
【 所属学会 】	日本造園学会, 日本観光研究学会, 日本都市計画学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間]環境省 宿舎事業を中心とした国立公園利用拠点の面的魅力向上検討会, 観光庁 歴史的資源を活用した観光まちづくりのための地域経済・社会・環境指標及び測定手法調査検討委員会, 観光庁 持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出(ハード補助事業:委員長), 観光庁 サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業有識者委員会(委員長), 文化庁 史跡等における歴史的建造物の復元の取扱いに関する専門委員会, 東京都 都立日比谷公園大音楽堂再整備事業事業者選定委員会(委員長), 東京都 自然環境保全審議会, 環境省 中央環境審議会自然環境部会(自然公園小委員会:委員長), 温泉小委員会:委員長), 東京都・環境局 自然環境保全審議会(2013年~2021年 規制部会長), 環境省 温泉資源の保護に関するガイドライン(地熱発電関係)改訂検討会(委員長), 観光庁 サステナブルな観光コンテンツ強化事業有識者委員会(委員長), 東京都・都市整備局 東京都公園まちづくり専門部会(部会長), 箱根町 史跡箱根旧街道保存整備基本計画策定委員会, 公益社団法人 日本造園学会 造園CPD推進委員会(委員長), 環境省 国立・国定公園の今後の新規指定・拡張等に関する勉強会, 熊本県 阿蘇世界文化遺産学術委員会, 東京都・港湾局 東京都港湾局指定管理者評価・選定委員会(2019~2021年 委員長), 東京都・環境局 東京都環境局指定管理者評価委員会(委員長), 東京都・建設局 日比谷公園再生整備基本設計技術審査委員会(委員), 環境省 地域共生型の地熱利活用に向けた方策等検討会(座長), 東京都・建設局 公園審議会(2017年~2021年 副会長), 文化庁 日本遺産審査委員会(2017年~2021年 委員長), 観光庁 観光地域ブランド確立支援事業等検討委員会, 環境省 国立公園における宿泊事業のあり方に関する検討会, 公益財団法人 日本交通公社 専門委員, 一般財団法人 休暇村協会 評議員, 一般財団法人 自然公園財団 評議員, 一般社団法人 日本エコツーリズム協会 理事, 一般財団法人 日本温泉協会 学術委員, 一般財団法人 環境イノベーション情報機構 評議員
【 受賞歴等 】	文化庁長官表彰(2020年12月17日), 田村剛賞(2020年05月23日), 北村賞(第40回)(2018年06月07日), 日本造園学会賞(1996年), 日本造園学会賞研究奨励賞(1989年)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	「里山」の認識形成から見る風景の保全・活用の考え方	土木学会誌	109, 9	8~11	(公社)土木学会	2024年
論文	共著	地域文脈の継承と伝達という視点からみた近隣公園の現状	ランドスケープ研究(オンライン論文集)	16,0	141~149	(公社)日本造園学会	2023年
論文	単著	観光まちづくり拠点としての神社空間	神道宗教	272	5~15	神道宗教学会	2023年
Misc	単著	地域共生型の地熱の利活用について	生活と環境	67,5	4~7	日本環境衛生センター	2022年
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望			67~79	学芸出版社	2024年02月29日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	阿蘇くじゅう国立公園への来訪者が許容する環境保全金の徴収方法	環境情報科学論文集	34	43~48	(一社)環境情報科学センター	2020年
論文	共著	仙台における「もり(森/杜)の都」表記の変遷と緑の空間の実態変化との関係	ランドスケープ研究	83, 5	499~502	(公社)日本造園学会	2020年
論文	共著	日本における地域風景の個性とその持続的管理	風景園林(中国)	26, No.170	109~118	北京林業大学	2019年
論文	共著	宇治白川地区における覆下茶産地の文化的景観および栽培システムの変遷に関する研究	ランドスケープ研究(オンライン論文集)		86~94	(公社)日本造園学会	2018年
著書等出版物	分担執筆	実践 風景計画学			1~8	朝倉書店	2019年03月05日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	歴史文化遺産の保存と活用に資するイコモス「遺産影響評価」の拡張と実装に関する研究	日本学術振興会	西村 幸夫	23K22937	11180000	2024年04月01日~2027年03月31日
科研費	基盤研究(C)	神社の立地等に見るエリアマネジメント拠点のあり方に関する研究	日本学術振興会	下村 彰男	21K05661	3900000	2021年04月01日~2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	「地域資源」としての都市緑地のあり方に関する研究	日本学術振興会	下村 彰男	18K05703	4030000	2018年04月01日~2021年03月31日

担当授業科目

2024年度:風景計画論, 専門ゼミナール, 地域資源論, 保全生態学概論, 観光まちづくり演習 I (調査手法), 観光まちづくり演習 II (地域分析), 観光まちづくり演習 III (構想・提案), 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	准教授 清野 隆 (SEINO Takashi)
【 学位 】	博士(工学) (2008年09月25日,東京工業大学,甲第7438号)
【 本学就任年月日 】	2020年04月01日
【 略 歴 】	東京工業大学 工学部社会工学科 卒業 東京工業大学 大学院社会理工学研究科社会工学専攻 修士課程 修了 東京工業大学 大学院社会理工学研究科社会工学専攻 博士課程 修了
【 研究分野 】	社会学、都市計画、まちづくり
【 所属学会 】	日本観光研究学会, 日本都市計画学会, 日本造園学会, 日本建築学会
【 学外委員等活動 】	〔過去5年間〕日本建築学会 論文集委員会, 日本建築学会 卒業論文等顕彰事業委員会, (一社)日本観光研究会 理事, 日本建築学会 農村計画委員会, 一般財団法人エコロジカルデモクラシー財団 理事, 日本建築学会 農村計画委員会・集落居住小委員会
【 受賞歴等 】	観光著作賞(学術)(2024年06月01日), 2024年日本建築学会教育賞(教育貢献)(2024年06月01日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
著書等出版物	共著	少人数で生き抜く地域をつくる 次世代に住み継がれるしくみ			134~145	学芸出版社	2023年04月07日
著書等出版物	共著	観光まちづくりのための地域の見方・調べ方・考え方			33~41, 102~110	朝倉書店	2023年02月01日
著書等出版物	共著	地域文脈デザイン まちの過去・現在・未来をつなぐ思考と方法			128~131, 168~201	鹿島出版会	2022年11月15日
著書等出版物	共著	はじめてのまちづくり学			74~104,144, 151	学芸出版社	2021年08月27日
著書等出版物	共著	「復興のエンジン」としての観光—「自然災害に強い観光地」とは			69~84	創成社	2021年01月19日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	イタリア共和国における歴史的景観の保全の現代的課題-ウルビーノ歴史的地区におけるData 修復再生をめぐる論争を事例に-	「都市計画論文集」	48, 3	1077~1082	日本都市計画学会	2013年10月
論文	共著	横浜市認定歴史的建造物制度の「保全活用計画」の景観的価値にみる参照関係—単体保存制度によるグループとしての歴史的建造物の保全活用の可能性—	「日本建築学会計画系論文」	657	2755~ 2762	日本建築学会	2010年11月
論文	単著	川越一番街における歴史的環境の変容—歴史的建造物の保全にみる敷地用途と町並みの変化に着目して—	「都市計画論文集」	44, 3	385~ 390	日本都市計画学会	2009年10月
論文	共著	東京都の歴史的建造物とその敷地用途の関係に関する研究	「ランドスケープ研究」	71, 5	737~ 740	日本造園学会	2008年05月
論文	共著	ウルビーノ市歴史的都心部における建築規制の変遷と都市像に関する研究	「日本建築学会計画系論文」	615	99~ 104	日本建築学会	2007年05月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	持続可能な地球環境に必要な「変革的な適応」を実現する為のまちづくり研究の再資源化	日本学術振興会	土肥真人	21H02223	17550000	2021年04月01日~2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	震災復興期における都市農村交流を活用した産業とコミュニティの再生に関する計画論	日本学術振興会	清野隆	24611023	5200000	2012年04月01日~2015年03月31日
研究助成		戦後イタリアにおける都市基本計画にみる都市論と都市計画思想に関する研究	財団法人大林都市研究振興財団	清野隆		1200000	2011年04月01日~2012年03月31日

担当授業科目

2024年度:まちづくり論, 専門ゼミナール, 観光まちづくり演習 I (調査手法), 観光まちづくり演習 II (地域分析), 観光まちづくり演習 III (構想・提案), 観光まちづくりインターンシップ, 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 十代田 朗 (SOSHIRODA Akira)
【 学 位 】	博士(工学) (1993年12月31日,東京工業大学,乙第2558号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	東京工業大学 工学部 社会工学科 卒業 東京工業大学 理工学研究科 社会工学専攻 修士課程 修了
【 研究分野 】	レクリエーション, リゾート, 観光, 都市計画, 地域計画
【 所属学会 】	international planning history society, 日本建築学会, 日本造園学会, 日本観光研究学会, 日本都市計画学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕日本都市計画学会 表彰委員, 日本観光研究学会 副会長, 「地域観光新発見事業選定委員会」委員, 「ブルーーツーリズム推進支援事業」審査委員長, 「地域の独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業選定委員会」委員, 「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業選定委員会」委員, 「誘客多角化等のための魅力的な滞在型コンテンツ造成」有識者委員会WG委員, 「神奈川県国土利用計画審議会」委員, 「福島県における観光関連復興支援事業検討会」委員
【 受賞歴等 】	アジア太平洋観光交流センター「第三回観光に関する学術研究論文」二席(1997年), 日本都市計画学会論文奨励賞(1994年), 日本観光研究学会優秀論文賞(2018年6月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	門前町におけるまちづくり活動に関する研究－歴史文化と観光に対する各主体の役割や態度に着目して－		35	69-78	観光研究	2023年12月
論文	共著	観光まちづくりにおける地域遺産システムの位置付けと役割に関する研究(その1):奄美遺産の成立に至る背景経緯および深化過程	日本建築学会計画系 論文集	86,787	2292-2303	日本建築学会	2021年09月
著書等出版物	単著	新しい観光学			296	左右社	2024年11月10日
著書等出版物	共著	地方都市の中心市街地と観光まちづくり;『観光まちづくりの展望』			139-148	学芸出版社	2024年02月
著書等出版物	監修	近代別荘建築			192	TWO VIRGINS	2022年01月25日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	地方都市中心市街地における観光振興・賑わい創出を目的とした低未利用地の活用に関する研究－中心市街地活性化基本計画に着目して－	都市計画論文集	58, 3	1258-1265	公益社団法人 日本都市計画学会	2023年10月
論文	共著	「IR 整備をめぐる候補自治体における議論に関する研究-IR 整備法成立以前における大阪府議会の会議録を資料として		34	11-20	観光研究	2022年11月
論文	共著	奄美大島における観光イメージおよび観光活動の変遷と宿泊施設の関係	日本建築学会計画系 論文集	86,784	1704-1714	日本建築学会	2021年06月
論文	共著	鉄道会社によるメディア運営および拠点開発を通じた地域コミュニティづくりの実践 - 中央線高架下プロジェクトを事例として	都市計画論文集	55, 1	49-57	公益社団法人 日本都市計画学会	2020年04月
論文	単著	Inbound Tourism Policies in Japan from 1859 to 2003		32, 4	1100-1120	Annals of Tourism Research	2005年

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	観光振興を考慮した都市の持続的発展を表現する概念モデルの構築	日本学術振興会	十代田朗	20H02328	8840000	2020年04月01日～2025年03月31日
科研費	基盤研究(C)	主観的・探求的価値に基づく地域遺産の価値整理と観光魅力化に関する手法の体系化	日本学術振興会	津々見崇	18K11838	2730000	2018年04月01日～2021年03月31日
科研費	基盤研究(C)	日本人のリゾートへの志向を考慮したリゾートの再生方策に関する研究	日本学術振興会	十代田朗	26360060	4680000	2014年04月01日～2018年03月31日

2024年度: 導入ゼミナール, 基礎ゼミナールA, 専門ゼミナール, 国土・都市計画論, 観光地経営論

【 職・氏名 】	准教授 大門 創 (DAIMON Hajime)
【 学 位 】	博士(工学) (2008年03月25日,宇都宮大学,博254号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 理工学部土木工学科 卒業 早稲田大学 大学院理工学研究科建設工学専攻 修了 宇都宮大学 大学院工学研究科生産・情報工学専攻博士課程 修了
【 研究分野 】	都市計画, 交通計画, ロジスティクス
【 所属学会 】	日本公衆衛生学会, 日本交通政策研究会, 日本物流学会, 交通工学研究会, 日本都市計画学会, 土木学会
【学外委員等活動】	(過去5年間)東京都千代田区 神田錦町南部地区駐車場地域ルール策定協議会, 委員, 東京都中央区 日本橋石町・室町・本町地区駐車場整備計画検討委員会, 副会長, 土木学会 土木技術者資格委員会, 1級土木技術者資格小委員会, 幹事, 東京都大田区 蒲田地区駐車場地域ルール策定協議会, 副会長, 東京都 大規模小売店舗立地審議会, 委員, 日本都市計画学会 社会連携委員会, 委員, 交通工学研究会 附置義務駐車場審査小委員会, 委員, 東京都府中市 移動等円滑化促進方針等推進協議会, 副会長, 東京都市圏交通計画協議会 総合都市交通体系あり方検討WG, 委員, 神奈川県葉山町 地域公共交通会議, 委員, 東京都中野区 都市計画審議会, 委員, 東京都府中市 都市・地域交通戦略推進協議会, 副会長, 日本都市計画学会 企画調査委員会, 高校教育支援WG, メンバー, 土木学会 地下空間研究委員会, 計画小委員会, 幹事, 土木学会 地下空間研究委員会, 委員, 東京都大田区 駐車場整備計画改定委員会, 副委員長, 土木学会 論説委員会, 幹事, 土木学会 エネルギー委員会, スマートシェアリングシティ小委員会, 委員兼幹事, 日本都市計画学会 学術委員会, 委員, 土木学会 土木学会論文集編集委員会, D3分冊編集小委員会, 委員, 広島県福山市 先進技術によるまちづくり官民協議会, 委員, 広島県府中市 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議, 委員
【 受賞歴等 】	日本観光研究会賞観光著作賞(学術) (2024年06月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	駐車場地域ルール策定の目的とその運用実態・課題	実践政策学	10, 1	99～108, 10	実践政策学エディトリアルボード	2024年06月
論文	共著	地方都市における市街地形が公共交通サービス水準に及ぼす影響に関する研究	都市計画論文集	59, 1	86～ 92, 7	日本都市計画学会	2024年04月
論文	共著	地方都市における自動車の保有動機に関する研究	交通工学論文集	8, 4	A_43～ A_50, 8	交通工学研究会	2022年04月
論文	単著	都市のスマート化が居住地選択へ及ぼす影響に関する基礎的研究 - テレワークの推進, ネット通販, 自動運転車両の推進を想定して -	都市計画論文集	57, 1	98～ 105, 8	日本都市計画学会	2022年04月
論文	共著	東京都市圏の広域物流拠点に関する政策の変遷と今後の方向性に関する研究	土木学会論文集D3	76, 4	347～ 363	土木学会	2020年12月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	食品の買物行動の規定要因と情報通信技術の影響	日本物流学会誌研究論文R	31	105～ 112, 8	日本物流学会	2023年06月
論文	共著	地方都市における自動車の保有動機と交通手段の使い分けに関する研究	交通工学研究発表会論文集	42	793～ 799, 7	交通工学研究会	2022年08月
論文	共著	地方都市における自動車の非合理的な保有動機に関する研究	交通工学研究発表会論文集	41	621～ 627, 7	交通工学研究会	2021年08月
論文	共著	鉄道利用がもたらす正の効用の定量化に関する研究	土木学会論文集D3	76, 5	1_93～ 1_100, 8	土木学会	2021年04月
論文	単著	公共交通サービス水準および公共交通利用の向上に資する市街地形に関する実証的研究	都市計画論文集	55, 3	1211～ 1218	日本都市計画学会	2020年10月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
公益団体による研究助成		消費者の買物行動の変化を踏まえた物流労働力の不足量の予測と、ラストマイルの配送確保のための対応策に関する研究	SBS鎌田財団	大門 創	B2020-009	500000	2021年04月～2022年03月
公益団体による研究助成		駐車場附置義務条例及び駐車場地域ルールによる地域貢献協力金と地域貢献策の運用に関する研究	大丸有地区駐車環境対策協議会	大門 創		500000	2023年4月～2024年3月
公益団体による研究助成		中心業務地区(CBD)の観光に資する交通のあり方に関する研究	大丸有地区駐車環境対策協議会	大門 創		500000	2024年4月～2025年3月

担当授業科目

2024年度: 交通計画, 専門ゼミナール, 都市と地域の交通, 基礎ゼミナールA, 観光まちづくり演習I(調査手法), 観光まちづくり演習II(地域分析), 観光まちづくり演習III(構想・提案)

【 職・氏名 】	専任講師 仲野 潤一 (NAKANO Junichi)
【 学 位 】	修士(情報理工学) (2009年03月23日, 東京大学大学院情報理工学系研究科, 修情 第1153号)
【 本学就任年月日 】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 工学部 都市工学科 卒業 東京大学 大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 博士課程 単位取得済退学
【 研究分野 】	観光行動論, インタラクティブメディア
【 所属学会 】	日本都市計画学会, 日本バーチャルリアリティ学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	観光著作賞 (学術) (2024年05月31日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	AI時代に向けてのメタ観光情報のあり方	メタ観光推進機構 2022年度会報誌			メタ観光推進機構	2023年03月
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			124～135	朝倉書店	2023年03月01日
講演・発表	単独	メタ観光の理論と実践	メタ観光オンラインシンポジウム vol.8			メタ観光推進機構	2023年8月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	領域型バーチャルタイムマシンを用いたまち歩きイベントの実現	日本バーチャルリアリティ学会論文誌(Web)	22, 2	241～250	日本バーチャルリアリティ学会	2017年
論文	共著	領域型バーチャルタイムマシン-過去の写真の撮影位置への誘導と現在風景への重畳	情報処理学会論文誌ジャーナル(CD-ROM)	52, 12	3611～3624	情報処理学会	2011年
論文	共著	Visual SLAMとGPSを用いた位置情報付き画像による都市空間記録の研究	電子情報通信学会論文誌 D	J93-D, 6	901～908	電子情報通信学会	2010年
Misc	共著	時空間行動データ検索システムの開発とその評価	土木計画学研究・講演集(CD-ROM)	35		JSCE 公益社団法人土木学会	2007年
Misc	共著	Implementation of on-site virtual time machine for mobile devices (領域型バーチャルタイムマシンのモバイルデバイス向けの実装) (査読付き)	IEEE Virtual Reality 2015 (program: Posters)			IEEE Virtual Reality 2015	2015年3月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目	
2024年度: データサイエンス, プログラミングと数学基礎, 専門ゼミナール, 観光まちづくり演習 I (調査手法), 観光まちづくり演習 II (地域分析), 観光まちづくり演習 III (構想・提案), 基礎ゼミナールB	

【 職・氏名 】	教授(特別専任) 南雲 勝志 (NAGUMO Katsushi)
【 学 位 】	芸術学士 (1979年03月,東京造形大学)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東京造形大学 室内建築科 卒業
【 研究分野 】	まちづくりにおけるデザインに関する実務, まちづくりに於ける杉材の利活用、及びデザイン
【 所属学会 】	土木学会, エンジニア・アーキテクト協会, GSデザイン会議
【学外委員等活動】	[過去5年間]岩手県まちづくりアドバイザー、住田町 昭和橋景観検討委員会委員, 住田町栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員、八王子市 景観アドバイザー、船森公園トイレコンペの第評価会議委員、世田谷区三茶ストリートファニチャーデザインコンペ審査委員長
【 受賞歴等 】	グッドデザイン賞 金賞 (2014年10月30日), 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (2015年01月30日), 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (2018年01月30日), 土木学会デザイン賞 最優秀賞 (2020年01月23日), 土木学会デザイン賞最優秀賞 (2021年01月23日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
創作・作品	共	渋谷道玄坂、宮益坂ストリートファンチャーデザイン				渋谷区	2024年3月30日
創作・作品	共	西鉄柳川駅前広場再整備ストリートファンチャーデザイン、及び橋梁高欄デザイン				柳川市	2024年3月30日
創作・作品	共	松山市駅前広場ストリートファンチャーデザイン及び電停シェルターデザイン				松山市	2023年3月30日
創作・作品	共	神戸三宮「サンキタ通り」再整備 照明デザイン				兵庫県神戸市	2021年03月30日
創作・作品	共	神戸三宮クロススクエアにおけるデザイン計画検討				神戸市	2023年03月30日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	単著	デザイン図鑑+ナグモノガタリ			144	ラトルズ	2004年10月01日
創作・作品	共	東京駅丸の内駅前広場 照明 ストリートファニチャーデザイン				JR東日本 東京都	2018年12月
創作・作品	共	高山駅前広場照明、ストリートファニチャーデザイン及び自由通路展示計画、デザイン				岐阜県高山市	2018年03月30日
創作・作品	共	相川地区誘導サインと地域デザイン				新潟県佐渡市	2016年04月
創作・作品	共	姫路駅前広場 大手前通り 照明、ストリートファニチャーデザインと杉の活用				兵庫県姫路市	2014年04月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 専門ゼミナール, パブリックデザイン(地域と公共空間), プロダクトデザイン(地域と杉), 基礎ゼミナールA, 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 西村 幸夫 (NISHIMURA Yukio)
【 学 位 】	工学博士 (1984年03月21日, 東京大学, 博工第1772号)
【 本学就任年月日 】	2020年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 工学部都市工学科 卒業 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程 満期退学
【 研究分野 】	都市計画
【 所属学会 】	自治体学会, 都市住宅学会, NPO法人神田学会, 日本建築学会, 日本都市計画学会
【 学外委員等活動 】	[過去5年間] 千代田区景観まちづくり審議会 会長, おおいたツーリズム大学(大分県)学長, NPO法人神田学会 理事長, 和歌山県景観審議会 会長, 中華民国台北県 県政顧問, 倉敷市景観審議会 会長, とやま観光(富山県) 塾長, 福島県 景観アドバイザー, 石川県 景観アドバイザー, 富山県 景観アドバイザー
【 受賞歴等 】	文化庁創立50周年記念表彰(2018年09月), 日本観光研究学会賞観光著作賞(2010年05月), 日本都市計画学会論文賞(2004年度)(2005年05月), 日本不動産学会著作賞(1998年), 日本建築学会賞(1996年05月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
Misc	単著	景観法20年の到達点 どこへ到達し、どこへ向かうのか	『造景2024』		4～ 13, 10	建築資料研究社	2024年09月01日
Misc	単著	日本文化遺産30年-世界の潮流と 奈良文書が果たした役割	『ピオシティ』	90	20～ 29, 10	(株)ブックエンド社	2022年04月09日
Misc	単著	歴史まちづくりのこれまでとこれから	『新都市』	76, 1	10～ 13, 4	都市計画協会	2022年01月01日
著書等出版物	単著	淀江から考える歴史を活かしたまち づくり			48	今井出版	2022年01月29日
著書等出版物	共著	多様な学びのかたち 近世日本の 教育遺産群を世界遺産に			168	ブックエンド社	2021年03月16日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	単著	都市から学んだ10のこと-まちづく りの若き仲間たちへ			214	学芸出版社	2019年04月
著書等出版物	単著	県都物語—47都心空間の近代をあ るく			347	有斐閣	2018年03月
著書等出版物	単著	西村幸夫 文化・観光論ノート—歴 史まちづくり・景観整備			239	鹿島出版会	2018年02月
著書等出版物	単著	都市保全計画			1048	東大出版会	2004年09月
著書等出版物	単著	環境保全と景観創造			329	鹿島出版会	1997年09月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	歴史文化遺産の保存と活用に資す るイコモス「遺産影響評価」の拡張と 実装に関する研究	日本学術振興会	西村 幸夫	22H01667	17290000	2022年04月01日～ 2027年03月31日
科研費	国際共同研 究加速基金 (国際共同研 究強化(B))	ネパール・ルンビニ地域に広がる古 代王国遺跡の保存活用に立脚した 地域計画立案	日本学術振興会	西村 幸夫	21KK0077	19110000	2021年10月07日～ 2026年03月31日
科研費	基盤研究(A)	歴史まちづくり法と景観法の計画論 的統合に関する研究	日本学術振興会	西村 幸夫	21246092	29120000	2009年～2011年

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, まちづくりと観光, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	准教授 河 炅珍 (HA kyungjin)
【 学 位 】	博士(学際情報学) (2015年09月18日, 東京大学, 博学情第102号)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	韓国梨花女子大学 言論・弘報・映像学部 卒業 青山学院大学 大学院経営学研究科 博士前期課程 修了 東京大学 大学院学際情報学府 博士後期課程 修了
【 研究分野 】	コミュニケーション, パブリック・リレーションズ, 広報, メディア
【 所属学会 】	日本社会学会, 日本広報学会, 日本メディア学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕公益財団法人大学基準協会 広報・情報系専門職大学院認証評価委員会, 日本広報学会 理事, 日本広報学会学会賞審査委員, 株式会社PR TIMES プレスリリースアワード審査員, 日本パブリックリレーションズ協会 PRアワードグランプリ審査員
【 受賞歴等 】	広島市立大学教員表彰(2021年03月), 第12回日本広報学会賞(2017年), 第8回助成研究吉田秀雄賞(2010年), 学生広告論文電通賞(2007年)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「「カーブ女子」という現象 ――広島東洋カーブとファン/共同体に関する考察」	『広島平和研究』	9	225～245	広島平和研究所	2022年03月
著書等出版物	編著	『駐韓国大使日誌1997～2000――日韓パートナーシップ宣言とその時代』			ix, 287, 8p	岩波書店	2024年06月28日
著書等出版物	分担執筆	『観光まちづくりの展望: 地域を見つめ、地域を動かす』			283 (199～210)	学芸出版社	2024年03月07日
著書等出版物	分担執筆	『吉見俊哉論 ――社会学とメディア論の可能性』			316 (249～274)	人文書院	2023年05月26日
著書等出版物	共著	『広島発の平和学 ――戦争と平和を考える13講』			xiv, 254, 5p (61～80)	法律文化社	2021年08月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「資生堂PR映画における〈企業自我〉の表象」	『東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究』	95	1～28	東京大学大学院情報学環	2018年10月
論文	単著	「PR学の方法論に関する考察――歴史的研究の問題を中心に」	『東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究』	90	15～37	東京大学大学院情報学環	2016年
論文	単著	「パブリック・リレーションズの条件――20世紀初頭のアメリカ社会を通じて」	『思想』	6月号 (No.10 70)	87～106	岩波書店	2013年
論文	単著	「『公報』、あるPRの類型――1960年代、韓国における政府コミュニケーションをめぐる」	『マス・コミュニケーション研究』	79	133～151	日本マス・コミュニケーション学会	2011年
著書等出版物	単著	『パブリック・リレーションズの歴史社会学――アメリカと日本における〈企業自我〉の構築』			xi, 388, 78p	岩波書店	2017年01月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	上演する地域: (まちづくり型) 芸術祭と〈自己-空間-時間〉意識の変容	日本学術振興会	吉見俊哉	23H00057	41210000	2023年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	基盤研究(C)	地域コミュニティに基づくメディア・デザイン実践の方法論に関する研究	日本学術振興会	平口希世子(島海希世子)	20K12544	4420000	2020年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	若手研究	戦後PRの歴史の変容に関する研究: 言説と表象の比較的分析を通じて	日本学術振興会	河炅珍	18K12921	4030000	2018年04月01日～ 2022年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, コミュニケーション論, 導入ゼミナール, 社会学概論, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールA

【 職・氏名 】	助教 潘 梦斐 (PAN Mengfei)
【 学 位 】	文学士 (2010年06月23日,香港大学)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	香港大学 文学部美術史、日本文化研究専攻 卒業 シドニー大学 芸術社会科学部博物館学専攻修士課程 修了 東京大学 大学院学際情報学府学際情報学専攻アジア情報社会コース博士課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	社会学, 都市研究, アート研究, メディア研究, ミュージアム研究
【 所属学会 】	カルチュラル・スタディーズ学会, 全日本博物館学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	トーハクXアイディアソン 最優秀賞(チーム)(2017年03月), 専攻長賞・優秀修士論文受賞(2015年03月), 角川賞(2014年08月), 国費外国人留学生(大学推薦)(2012年10月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	中間領域としてのミュージアム: 「ニューミュゼオロジ」の二つの源流 と「コミュニケーション論」を中心に	國學院大學紀要	63	1～22	國學院大學	2025年2月
論文	単著	「小西湖」と十九世紀の日本におけ る漢字文化圏コミュニティ	World History Bulletin	40(1)	59～63	World History Association	2024年10月
論文	単著	絵図と明治中期大磯における近代 リゾートの誕生	SYNERGY, Journal of the Department of Modern Languages and Business Communication	20(1)	37～50	Bucharest University of Economic Studies	2024年7月
論文	単著	『東京下谷根岸及近傍圖』—明治 後期における「コミュニティ・マッピ ング」の象徴性	Japan Review	37	123～150	国際日本文化研究セ ンター	2022年12月
論文	単著	物理的な壁を超えるミュージアムパ ンデミックのなか日本ミュージアムの 実践	Journal of Urban Culture Research	23	107～122	Osaka Metropolitan University and Chulalongkorn University	2021年12月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
講演・発表		「路上観察」—芸術運動からまちづ くりへ	22nd Urban Culture Research Forum, 共 催(バンコク&オンライ ン)			チューラーロンコーン大 学・大阪公立大学	2025年3月
講演・発表		批評としての「アンビルト」—前川國 男の1931年帝室博物館案を再考す る	International Conference on Architecture as Built Criticism,			International Committee of Architectural Critics and Tongji University Conference	2023年10月
講演・発表		明治中期の大磯鳥瞰図から見る 「地図」と「場所」との関係	"Japan: Pre-Modern, Modern, Contemporary",			Bucharest University of Economic Studies, Center for Japanese Studies Conference	2023年9月
講演・発表		「(美術)村」の誕生—アートを対象 とする社会学・地理学の理論構築に 向けて	"Artists' colonies in the world / The world in artists' colonies,"			オーストラリア・メルボ ルン大学	2022年11月
講演・発表		地元の名士をマッピングする—明治 日本における「地図的住所録」をめ ぐって	"Mapping Asia: Cartography and the Construction of Territoriality,"			ドイツ・エアフルト大 学	2022年11月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	上演する地域:(まちづくり型)芸術 祭と(自己-空間-時間)意識の変容	日本学術振興会	吉見 俊哉	23H00057	41210000	2023年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	若手研究	アートネットワーク形成における「場 所」の役割:不忍池と杭州西湖の事 例から	日本学術振興会	PAN Mengfei	21K12903	4030000	2021年04月01日～ 2024年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 文化社会学

【 職・氏名 】	准教授 藤岡 麻理子 (FUJIOKA Mariko)
【 学 位 】	博士(学術) (2010年03月25日,筑波大学,甲第5459号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 第一文学部総合人文学科人文専修 卒業 筑波大学 大学院芸術研究科 修士課程 世界遺産専攻 修了 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 博士後期課程 世界文化遺産学専攻 修了
【 研究分野 】	文化遺産学, 歴史的環境保全
【 所属学会 】	日本建築学会, 日本都市計画学会, 日本文化政策学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕逗子市 まちづくり審議会委員, 文化遺産国際協力コンソーシアム 欧州分科会委員, 日本イコモス国内委員会 第4小委員会(世界遺産)幹事, 日本建築学会 都市づくりプラン研究小委員会
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	社会における歴史文化の位置づけ—五大都市の総合計画における記述の変遷から—	文化政策研究	16	48～60	日本文化政策学会	2023年
論文	単著	武力紛争時における文化遺産に対する意図的な攻撃の処罰に関する研究: トンプクトゥの歴史的な宗教上の建物に対する攻撃についての国際刑事裁判を事例として	日本建築学会計画系論文集	86, 779	335～344	日本建築学会	2021年01月
論文	共著	市町村における歴史まちづくりの取り組み状況と展開要件に関する研究	都市計画論文集	55,3	1409～1416	日本都市計画学会	2020年
著書等出版物	共著	『観光まちづくりの展望: 地域を見つめ、地域を動かす』			284(55～66)	学芸出版社	2024年02月29日
著書等出版物	分担執筆	『世界遺産の50年: 文化の多様性と日本の役割』			264(i～xi)	ブックエンド	2022年10月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
Misc	共著	都市の古民家の保全・活用を推進するNPO 古都保存再生文教基金会の取組み—台湾台南市における歴史・文化を活かしたまちづくりに関する研究 その1—	日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)		1127～1128	日本建築学会	2024年08月
Misc	共著	行政による提案型まちづくり補助事業「台南築角計画」の取組み—台湾台南市における歴史・文化を活かしたまちづくりに関する研究 その2—	日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)		1129～1130	日本建築学会	2024年08月
Misc	単著	韓国の都市を特徴づける風景—まちあるさからの雑感	家とまちなみ	89	62～63	住宅生産振興財団	2024年05月
論文	共著	都市における歴史的環境保全制度の自治体運用に関する日本・韓国・台湾の国際比較研究	都市計画論文集	54,3	998～1005	日本都市計画学会	2019年
論文	共著	都市における土地利用コントロール制度と歴史的環境保全制度の関係に関する国際比較研究: 日本・韓国・台湾における関連制度の比較分析から	都市計画論文集	53,3	1109～1116	日本都市計画学会	2018年

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	歴史文化遺産の保存と活用に資するイコモス「遺産影響評価」の拡張と実装に関する研究	日本学術振興会	西村幸夫	JP23K22937	17290000	2022年04月01日～2027年03月31日
研究助成		市町村の歴史まちづくりにおける都道府県景観施策の役割	公益財団法人 大林財団	藤岡麻理子	なし	1500000	2024年04月01日～2025年03月31日
研究助成		面的な地域遺産の保全に関する多様なアプローチとその成立要件	一般財団法人 第一生命財団	藤岡麻理子	なし	900000	2023年04月01日～2024年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, 世界遺産論, 基礎ゼミナールA, 基礎ゼミナールB, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	教授 堀木 美告 (HORIKI Mitsugu)
【 学 位 】	修士(農学生命科学) (1996年03月29日, 東京大学, 修農第3341号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 農学部林学科 卒業 東京大学 大学院農学生命科学研究科森林科学専攻 修士課程 修了
【 研究分野 】	造園学、観光計画、観光行動、観光資源管理
【 所属学会 】	日本観光研究学会, 日本造園学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 事務局「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」に関する事業支援有識者, 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業事務局「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に関する事業支援有識者
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	観光計画をテーマとしたゼミ運営に関する考察	淑徳大学教育学部・経営学部研究年報	第4号	289～299	淑徳大学教育学部・経営学部	2021年03月21日
論文	共著	経営学部におけるICT活用教育の取り組み-遠隔授業の実施経験を踏まえた授業改善の方向性-	淑徳大学高等教育研究開発センター年報	第7号	89～102	淑徳大学高等教育研究開発センター	2020年11月27日
著書等出版物	共著	観光経営学入門			(81～91)	建帛社	2024年09月10日
著書等出版物	共著	観光まちづくりの展望 地域を見つめ、地域を動かす			(95～105)	学芸出版社	2024年02月29日
著書等出版物	共著	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			(5～8,13～16,22～23)	朝倉書店	2023年03月01日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	多様化する音楽イベント会場に関する考察	淑徳大学教育学部・経営学部研究年報	第2号	305～315	淑徳大学教育学部・経営学部	2019年03月21日
論文	単著	観光経営学科における「地域学習」に関する試論	淑徳大学教育学部・経営学部研究年報	創刊号	293～300	淑徳大学教育学部・経営学部	2018年03月21日
論文	共著	観光まちづくりの現状と動向	ランドスケープ研究	vol.73, no.2	89～91	日本造園学会	2009年08月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	新しい観光形態としてのオンラインツアーの課題と可能性に関する研究	日本学術振興会	堀木美告	22K12621	3640000	2022年04月01日～ 2025年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 観光学概論, 導入ゼミナール, 観光政策・計画論, 保全生態学概論, 基礎ゼミナールA, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)

【 職・氏名 】	准教授 松本 貴文 (MATSUMOTO Takafumi)
【 学 位 】	博士(学術) (2011年03月25日,熊本大学,博学第209号)
【本学就任年月日】	2021年04月01日
【 略 歴 】	熊本大学 文学部地域科学科 卒業 熊本大学 大学院文学研究科地域科学専攻 修了 熊本大学 大学院社会文化科学研究科公共社会政策学専攻 修了
【 研究分野 】	環境, 農村
【 所属学会 】	環境社会学会, 日本社会学会, 日本社会分析学会, 西日本社会学会, 日本村落研究学会
【学外委員等活動】	[過去5年間]日本村落研究学会 村研ジャーナル編集委員会, 西日本社会学会 理事, 日本村落研究学会 理事, 日本社会分析学会 編集委員, 西日本社会学会 年報編集委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	村落領域論と農業集落調査	農村計画学会誌	41, 4	180～183	農村計画学会	2023年03月30日
論文	単著	現代農村における未婚化への対応と地域社会の変容:生活構造論の視点から(特集 グローバル化と農村・過疎化)	社会学評論	71, 4	541～558	日本社会学会	2021年04月13日
論文	単著	環境保全からみた地域社会の変容:福岡県柳川市の事例から	社会分析	48	67～82	日本社会分析学会	2021年03月31日
著書等出版物	共著	入門・地域社会学:現代的課題との関わりで			256	学文社	2024年03月30日
著書等出版物	共著	新・現代農山村の社会分析			204	学文社	2022年09月20日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	村研アーカイブス:調査と方法 エンプリの須恵村研究の今日的意義	村落社会研究ジャーナル = Journal of rural studies	26, 1	13～23	日本村落研究学会	2019年10月
論文	単著	再生可能エネルギーの導入で集落はどう変わるのか:一熊本県上益城郡水増集落の事例から	西日本社会学会年報	17	63～74	西日本社会学会	2019年
論文	単著	農村の結婚問題と新しい連帯の形成—熊本県A町の結婚促進事業を事例として—	西日本社会学会年報	12	51～64	西日本社会学会	2014年
論文	単著	リスク論から見た過疎問題—過疎の構造転換と「リスク社会」—	西日本社会学会年報	7	17～27	西日本社会学会	2009年
著書等出版物	共著	暮らしの視点からの地方再生:地域と生活の社会学			iv, 359p	九州大学出版会	2015年04月

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(B)	過疎内包型地域圏の生活持続モデルの構築と検証:地域生活構造分析による解明	日本学術振興会	高野和良	23K22177	16900000	2024年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(B)	ポスト農業社会の食・農・自然に視点を置いた農業社会学の構築	日本学術振興会	牧野厚史	20H01575	13260000	2020年04月01日～2024年03月31日
科研費	若手研究	新たな「複業体制」の構築を通じた集落再生	日本学術振興会	松本貴文	18K12938	3250000	2018年04月01日～2022年03月31日

担当授業科目
2024年度: 社会調査法入門, 導入ゼミナール, 専門ゼミナール, 地域と環境の社会学

【 職・氏名 】	専任講師 楊 惠亘 (YANG Hui-Hsuan)
【 学 位 】	博士(工学) (2013年9月, 東京大学)
【本学就任年月日】	2022年04月01日
【 略 歴 】	国立台湾大学 農学部園芸学科 卒業 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 修士課程 修了 東京大学 大学院工学系研究科都市工学専攻 博士課程 単位取得後退学
【 研究分野 】	都市デザイン、ランドスケープデザイン(景観デザイン)、都市保全、創造都市
【 所属学会 】	日本建築学会
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	日本不動産学会 湯浅賞(研究奨励) 修士論文部門

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	「歴史・文化を活かした住宅地とコミュニティ再生の持続性向上 -日本・韓国・台湾における住宅地の都市再生事例の実態と比較から-」(査読付き)	『住宅総合研究財団 研究論文集』	No.51		住宅総合研究財団	2025年3月1日
講演・発表	共著	「行政による提案型まちづくり補助事業「台南築角計画」の取り組み -台湾台南市における歴史・文化を活かしたまちづくりに関する研究 その2-」	2024 日本建築学会 大会[関東]			日本建築学会	2024年8月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
外部資金	共同研究	歴史・文化を活かした住宅地とコミュニティ再生の持続性向上 -日本・韓国・台湾における住宅地の都市再生事例の実態と比較から-	住宅総合研究財団	中西 正彦	助成No.2315	1300000	2023年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	アジア大都市の歴史文化による都市再生-社会経済組織と文化遺産の保全に着目して-	日本学術振興会	鈴木 伸治	26420613	5070000	2014年04月01日～ 2017年03月31日
科研費	研究活動スタート支援	アジア大都市の歴史的街並み保全のまちづくりにおける多主体連携プロセスに関する研究	日本学術振興会	柏原 沙織	24860052	3880952	2012年08月31日～ 2014年03月31日

担当授業科目

2024年度: 専門ゼミナール, 都市保全論, 導入ゼミナール, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールB, アートと地域振興

【 職・氏名 】	教授 吉見 俊哉 (YOSHIMI Shunya)
【 学 位 】	社会学修士 (1984年03月, 東京大学)
【 本学就任年月日 】	2023年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 教養学部教養学科関連社会科学分科 卒業 東京大学 大学院社会学研究科修士課程 修了 東京大学 大学院社会学研究科社会学専攻博士課程 満期退学
【 研究分野 】	社会学, 文化研究
【 所属学会 】	日本メディア学会, デジタルアーカイブ学会
【 学外委員等活動 】	中央教育審議会 委員, 文化審議会 委員
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
著書等出版物	単著	『敗者としての東京: 巨大都市の隠れた地層を読む』			352	筑摩書房	2023年2月15日
著書等出版物	単著	『空爆論: メディアと戦争』			266	岩波書店	2022年8月4日
著書等出版物	単著	『東京復興ならず』			312	中央公論新社	2021年6月22日
著書等出版物	単著	『大学は何処へ: 未来への設計』			316	岩波書店	2021年4月20日
著書等出版物	単著	『大学という理念—絶望のその先へ』			280	東京大学出版会	2020年09月29日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	単著	「マスの知 メディアの知」	『マス・コミュニケーション研究』	97	3～ 16	日本マス・コミュニケーション学会	2020年7月31日
論文	単著	「総論: 映像で書かれる歴史とデジタルアーカイブ」	デジタルアーカイブ学会誌	3, 4	368～ 369	デジタルアーカイブ学会	2019年12月16日
論文	単著	「1964 Tokyo Olympic as Post-War (東京五輪と戦後)」	『International Journal of Japanese Sociology』(『国際日本社会学雑誌』)	28	80～ 95	日本社会学会	2019年03月
著書等出版物	単著	『知的創造の条件』			256	筑摩書房	2020年05月14日
著書等出版物	単著	『五輪と戦後』			440	河出書房新社	2020年04月27日

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(A)	上演する地域: (まちづくり型) 芸術祭と(自己-空間-時間)意識の変容	日本学術振興会	吉見俊哉	23H00057	41210000	2023年04月01日～ 2028年03月31日
科研費	基盤研究(A)	プレーポストオリンピック期東京における世界創造都市の積層と接続に関する比較社会学	日本学術振興会	吉見俊哉	18H03646	37440000	2018年04月01日～ 2023年03月31日
科研費	基盤研究(A)	矢内原忠雄学生問題研究所未発掘資料から見る1950年代の学生運動と若者意識の分析	日本学術振興会	吉見俊哉	25245058	27690000	2013年04月01日～ 2018年03月31日

担当授業科目

2024年度: グローバリゼーション論, 専門ゼミナール, 都市とメディアの社会学, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案), 基礎ゼミナールB

【 職・氏名 】	教授 米田 誠司 (YONEDA Seiji)
【 学位 】	博士(公共政策学) (2011年07月27日,熊本大学,甲第18号)
【本学就任年月日】	2020年04月01日
【 略 歴 】	早稲田大学 理工学部土木工学科 卒業 早稲田大学 大学院理工学研究科建設工学専攻修士課程 修了 熊本大学 大学院社会文化科学研究科公共社会政策学専攻博士課程 修了
【 研究分野 】	人文・社会, 観光学, 観光政策
【 所属学会 】	西日本社会学会, 自治体学会, 日本公共政策学会, 日本都市計画学会, 日本観光研究学会
【学外委員等活動】	〔過去5年間〕日本観光研究学会 理事, 港区まちづくりマスタープラン検討委員会 委員, 杉並区都市計画審議会 委員, 観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 委員, 一般社団法人地域活性化センター 全国地域リーダー養成塾主任講師, 観光庁 広域周遊観光促進専門家派遣事業専門家, 公益財団法人日本都市センター 都市自治体におけるツーリズム行政に関する研究会 委員, 一般社団法人日本観光研究学会 監事, 内子町役場 内子町歴まち計画策定委員会 委員, 内子町歴史的風致維持向上計画推進協議会 委員, 大分県庁 大分ツーリズム大学チューター
【 受賞歴等 】	観光著作賞(学術)(2024年12月07日), 学会著作賞(2010年05月)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	地域における関係性構築と観光まちづくり	都市自治体におけるツーリズム行政－自足可能な地域を目指して－		91～109	公益財団法人日本都市センター	2021年03月31日
論文	単著	「食産業」COVID-19対応からみる「食文化」構成要素に関する予備的考察	日本観光研究学会全国大会学術論文集 Proceedings of JITR annual conference	35	149～152	日本観光研究学会	2020年12月
著書等出版物	分担執筆	観光まちづくりの展望			284	学芸出版社	2024年02月29日
著書等出版物	分担執筆	「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方			152	朝倉書店	2023年03月01日
著書等出版物	共著	図説わかる都市計画			284	学芸出版社	2021年12月16日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)

種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	地域内経済循環による地域活性化－旧湯布院町における産業連関分析調査を手がかりに－	観光研究	30, 2	22～25	日本観光研究学会	2019年05月
論文	単著	観光まちづくりと持続可能な地域経営：由布院の事例から(特集 人口減少社会を救う「観光まちづくり」)－(観光まちづくりのマネジメント)	都市計画 = City planning review	66, 6	60～63	日本都市計画学会	2017年11月15日
著書等出版物	分担執筆	由布院モデル			208	学芸出版社	2019年03月
著書等出版物	分担執筆	交通まちづくり: 地方都市からの挑戦			189	鹿島出版会	2015年07月
著書等出版物	分担執筆	観光まちづくり－まち自慢からはじまる地域マネジメント－			285	学芸出版社	2009年02月

【競争的資金】 (3点まで)

種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	日常との対比からみる「観光食」時空間再埋め込みプロセスの研究	日本学術振興会	米田誠司	23K11654	3380000	2023年04月01日～2026年03月31日
科研費	基盤研究(C)	移住政策、滞在型観光との接合による地域経営	日本学術振興会	米田誠司	15K01948	4420000	2015年04月01日～2019年03月31日
科研費	基盤研究(C)	観光における「まちづくり」の意味と知識循環型クラスターについての研究	日本学術振興会	大澤健	15K01944	4550000	2015年04月01日～2019年03月31日

担当授業科目

2024年度: 観光食マネジメント, 公共政策概論, 専門ゼミナール, 導入ゼミナール, 基礎ゼミナールB, 事業研究, 観光まちづくり演習Ⅱ(地域分析), 観光まちづくり演習Ⅲ(構想・提案)